

平成 31年 1月 3日

2018 年度マクロ経済学試験範囲  
試験範囲

1. 生産・使用・資本金融・海外勘定および家計の所得支出勘定を理解し、現実の国民経済計算の数値から諸項目間の関係を計算できるようにしてください。ただし、平成29年度国民経済計算年次推計（支出側系列等）では資本勘定、家計所得勘定の最新データが欠けるので、貯蓄の諸概念（家計貯蓄、国民貯蓄、経常収支の相互関係）、家計現実最終消費や政府現実最終消費などの数値計算の出題をすることができません。これらの出題は「五者選択問題」の出題範囲とと考えてください。

2. 上記以外の「五者選択問題」の項目を列挙します。選択問題は択一ではなく複数回答可能な問題が含まれています。正答のほかに複数回答した場合は減点になります。

- no. 1. 国民経済計算（数値計算問題を除く）
- no. 2. マクロバランス
- no. 3. 貯蓄と預金 家計貯蓄の負への転落 国民貯蓄
- no. 4. 税率、輸出入を含むマクロ市場均衡（利子率一定のケース、税率の効果）
- no. 5. 「45度線」図（Mathematicaシミュレータ参照）
- no. 6. 乗数過程（等比級数、在庫調整モデルを含む）
- no. 7. 閉鎖経済の財市場（IS曲線とシフト、Mathematicaシミュレータ参照）
- no. 8. 閉鎖経済の貨幣市場（LM曲線とシフト、Mathematicaシミュレータ参照）
- no. 9. 閉鎖経済のマクロ均衡（財政・金融政策の効果、クラウディングアウト、資産効果）
- no. 10. 総需要曲線の導出
- no. 11. 総供給曲線の導出
- no. 12. インフレ曲線
- no. 13. 節約のパラドックス（Mathematicaシミュレータ参照）
- no. 14. 成長モデル（貯蓄、預金、成長、Mathematicaシミュレータ参照）
- no. 15. 国際貿易と為替
- no. 16. マーシャル-ラーナー条件
- no. 17. 利付債パーレートの定義
- no. 18. 為替平価説
- no. 19. 三国間為替裁定条件
- no. 20 平成29年度の国民所得、家計貯蓄、生産の動向など（平成29年度国民経済計算年次推計（フロー編）ポイント（平成30年12月25日参照））